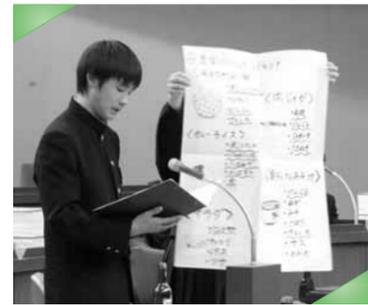


第2回養老町子ども議会を開催

平成30年12月5日 午後4時より 養老町役場4階議事堂において



第2回養老町子ども議会が養老町役場議事堂で、開催されました。
高田・東部両中学校の3年1名ずつが議長となり、また、各クラスの代表2名ずつ合計16名が議員になり、養老町の将来について自分たちの考えを提案発表しました。各中学校2年生の生徒及び先生、保護者の方、町議会議員など、大勢の方が傍聴をされました。
生徒は昨年度作成された「ふるさと養老テキスト」の学習を通して学んだことや、公民館交流で高齢者の方と交流したこと等を夏休みも活用し、調査・研究してきました。



中学生の主な意見・提案

- ・養老町の課題を考えて。
- ・高田商店街の活性化に向け、空き店舗の貸出や企業誘致を行うはどうか。
- ・養老町の観光について、目的別・対象別に観光ルートを作成しては。
- ・養老の食文化を紹介し販売する地産地消をテーマにした農業レストランを作っては。
- ・町民の防災意識が高めら



れるよう、防災マップの活用や広報で防災関連記事の掲載をしては。
生徒が育てた苗や花を町内施設に配布。休耕田などを活用した花作りを提案。
福祉作業所体験を通して感じた町民全員で取り組む環境美化について。
自転車通学全員許可制の取組から、交通ルールや交通網の整備を
など、多数の意見を発表してくれました。



中学生の感想

緊張しましたが、「思いを伝えたい」「養老町をもっと良くしたい」という気持ちで発表しました。
他のクラスや中学校の意見を聞き、改めて養老町の良さを知り、誇りが持てました。
各課長のお話を聞き、町の対策や政策、行政についても学ぶことができました。
下調べをしっかりとし、明確なねらいや提案内容であることが大切だと思います。
私たちの提案が少しでも参考になり、反映されることを期待します。



中学生の皆さん、大変緊張されたかと思いますが、貴重な体験となったことでしょうか。また私も色々な意見が聴けて刺激を受けました。ありがとうございました。
(議長)

あれからどうなったんやあ〜 シリーズ 89

このシリーズは、過去の定例会(今回は平成29年12月議会)での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。



「公金クレジット収納は」

問 クレジット収納は多くのメリットがある。県内では岐阜市・大垣市をはじめ、多くの市町村が導入している。養老町の導入への考えは。

答 町では、税金等の支払いを推奨している。クレジット収納については、今年度から調査を始めている。クレジットの導入については電算システムの改修や手数料、他市町での利用状況、コストや効果面など鑑み検討していく。

「うなりました」

町では、クレジット収納について調査・検討した結果、インターネット環境があれば場所を問わず24時間いつでも納付できることから、クレジット収納を導入することとしました。
導入に向けて、今年度は、システム改修や運用テスト、納付サイトの構築などの整備を進めているところだ。

平成31年度からは、全ての町税について、納期限内に限り、インターネットを利用したクレジットカードによる納付ができるようになりますので、より納付しやすい環境を整えられ、利便性が向上します。
カードご利用の際には、手数料が必要となることや、口座振替の方が利用される場合は、事前に手続きが必要となりますので、詳細については、広報養老や町ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

議会に対しての意見

シリーズ 27

このシリーズは、町内の各種団体の代表や副代表等の方へ、編集委員が意見をお聞きし、その記事を掲載するものです。

■ 住民の声 ■

(町内在住 Y・Kさん)
近年、地方議員の「なり手不足」「資質の低下」が問題視されています。人口の減少と高齢化が進む中で議員の後継者がいない、議員報酬が低額であること、兼業がしにくいことによる立候補者不足及び地方行政への関心の低さや不信感等が要因であると言われています。
わが養老町でも将来を担う若手議員が少なく、また議員の行動・言動等資質に問題がある事象が散見されます。人口減少という現状と財政不足に鑑みると議員定数の削減改革が必要であるように思われます。
一人当たり報酬の向上を図り、議員活動の基盤を強化し、議員は町民の負託に応えるという基本に立ち戻り、利権にとらわれることなく将来を見据え、危機感を持ちながら、さらに切磋琢磨して議会の活性化を図っていただきたいと切望します。また、町民もしっかりと監視監督していくことが重要であり

